

## 組合員 さんの声

新リサーチ(前田製菓(株))を企画してください。

## 実現 しました

リクエストをいただき  
ありがとうございます。

ご要望をもとに検討した結果、11月3回企画から、案内できるようになりました。この商品は、サクサクとした食感の大型の薄焼きビスケットに、ロトけのよいチョコレートサンドした商品です。この機会にぜひご利用くださいますようお願いいたします。



## 今月のおしらせ 自然毒による 食中毒

食中毒には細菌やウイルスを原因とするもののほかに、動物や植物が持っている毒素(自然毒)が原因となる場合もあります。

動物性自然毒は、フグ毒や貝毒(麻痺性貝毒、下痢性貝毒)などがあり、植物性自然毒は、スギヒラタケ、カエンタケ、テングタケ等の毒きのこや、スイセン、チョウセンアサガオ、ヤマゴボウ等の有害植物があります。

秋には食用きのこ間違えて食べることで起こる、毒きのこによる食中毒が多く発生します。予防するためには、「柄が縦に裂けるキノコは食べられない」「地味な色のキノコは食べられない」「虫が食べているキノコは食べられない」などの迷信や言い伝えによる判断はせず、迷ったときは「採らない・食べない・人にあげない」ことが重要です。

## 9月度 商品検査 実績

### ●微生物検査 992検体

●店舗新規商品検査において「日配1品目」が大腸菌群において自主基準不適合となったことから工程管理を見直して再検査を実施しました。再検査では自主基準に適合する結果となりました。



### ●理化学検査 569検体

食品添加物	簡易農薬	畜種判定	残留農薬 (外部検査機関へ依頼)	精米品種判定 (外部検査機関へ依頼)	カビ毒
150検体	50検体	6検体	21検体	4検体	4検体
検査の結果、いずれも問題ありませんでした。					
放射線物質検査 (NaIシンチレーション スペクトロメータ※①)	74検体	無店舗商品抜取で、米4検体、野菜20検体、果物19検体、牛乳10検体、鶏卵5検体、飲料1検体、店舗商品抜取で米10検体、野菜2検体、水産1検体、冷蔵日配2検体検査の結果、全て検出限界値(20Bq/kg)以下でした。			
放射線物質検査 (NaIシンチレーション サーベイメータ※②)	100検体	無店舗商品抜取で野菜42検体、果物25検体、きのこ21検体、店舗商品抜取で野菜3検体、果物9検体検査の結果、全てバックグラウンドとの差異が※③3kcps(キロ・カウント・パー・セカンド)以内となりました。			

※①NaI(エヌエーアイ)シンチレーションスペクトロメータ(遮蔽体(しゃへいたい)付検出器で核種を特定できるもの:ヨウ素131,セシウム134,セシウム137を測定)

※②NaIシンチレーションサーベイメータ(遮蔽体無しの持ち運びできる機器:ガンマ線総量を測定)

※③kcps(キロ・カウント・パー・セカンド):1秒間に対象となるものから何回放射線物質が放出されているか測定するものです。奈良県行政と同様にバックグラウンド(放射線測定の際の測定対象以外からの放射線や宇宙線や天然の放射性物質に起因する)との差異を3以内としました。NaIシンチレーションサーベイメータではガンマ線総量を測定し、より多くの検体を測定し、検出が疑われる場合は、NaIシンチレーションスペクトロメータで確認検査を行うこととしています。